

えぐね

「えぐね」は、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林です。快適な住環境を形づくり、日本の原風景を代表する景観を生み出しています。本校が胆沢の地や人々にとってなくてはならない「えぐね」のような存在であり続けたいと願い、校報の名前にしています。

3学期を迎えて

始業式で伝えた内容です。「短い学期ですが、まとめと次の準備を進める時期です。大切にしてほしいことは、まとめと準備をする中で、今からできることは、すぐ始めるべきだということです。まとめの中で不足していると感じたことや改善点がはっきりしたことは3学期の内から取組を始めてください。行動する事でより準備がしやすくなり、4月を心待ちにできるようになると思います。3学期は、まとめと準備をする・できることは始める、の2点を意識して生活していきましょう。」

アンサンブルコンテスト

12月25日に奥州支部大会が開催され、本校から木管1・金管2・フルート1・打楽器1の5組が出演しました。緊張感のある中、どのグループも練習の成果を発揮して、美しい音色を会場に響かせていました。

審査の結果、金賞3、銀賞2の受賞となりました。おめでとうございます。

その中で、フルート四重奏と打楽器四重奏が県大会に進出することとなりました。

生徒会リーダー研修会

12月26日に開催しました。2年生を中心に、リーダーとしてこれからどのような考えで進めていくのかについて検討しました。意見交流を含め真剣な話し合いが続いていました。今後の活躍を期待しています。



HOP! STEP! あたご塾



冬休みの12月から1月の5日間にわたって、愛宕地区センターを会場に開かれました。参加した生徒たちは、それぞれが持参した学習内容について取り組んでいました。自習形式でしたが、難問などわからないことは質問しながら、熱心に取り組んでいました。

3年生の学習に向かう姿

冬休み期間中には、会議室を3年生用の学習室として開放しました。凜とした空気の中、自分の学習に取り組んでいました。また、参加した生徒がわからないところを職員室の先生に聞きに来る場面もあり、しっかりと学習に向かう姿がたくさんみられました。

地区小・中学生美術展

5日～9日に胆江地区勤労者教育文化センターで開催され、本校からの出品を含め小中学校合わせ100点の作品が展示されました。

美術展は、今回で30回目となるもので、それぞれの学年ごとに工夫を凝らした絵画作品を見ることが出来ました。

読破目標達成率

本校(図書委員会)では年間の図書室利用での読破目標を設定しています。冊数として一人20冊をめざしています。すでに達成して

いる生徒もたくさんいますが、あと少しという生徒もいます。年末時点の達成率は1年81%、2年64%、3年23%です。

よく本を読んでいる生徒の様子を見てみると、「読みやすい本を選んでいる」「普段から図書室に足を運んでいる」ことは共通しているようです。

図書室に足を運ぶことで、普段気づかない新しい分野の本に出会うこともあります。目標達成と同時に読書の楽しさや奥深さに触れてほしいものだと思います。

高1調査⑤「会話1」

お母さんと会話しているか

- ① 学校のできごとについて
よく45.1% ときどき33.9%
- ② 友達のすることについて
よく38.2% ときどき35.8%
- ③ 将来や進路のことについて
よく22.8% ときどき39.7%
- ④ 勉強や成績のことについて
よく16.7% ときどき40.9%
- ⑤ 社会のできごとやニュースについて
よく17.9% ときどき33.0%

母親との会話は、身近な事柄の割合が多く、そうでない事柄の割合が少なくなる傾向が見られます。また、普段の何気ない会話があること(=リラックスしている時間があること)が子どもにも、保護者にも、とても大切なことだと感じています。